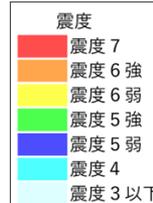


## 1. ハザード評価

### (1) 地震動

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



#### <震度別面積割合>

(参考) 総面積 = 194.5km<sup>2</sup>

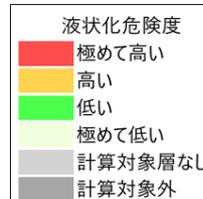
	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km <sup>2</sup> )	割合	面積 (km <sup>2</sup> )	割合
7	0.7	1%未満	0.0	0%
6 強	105.2	54%	0.1	1%未満
6 弱	75.8	39%	123.4	64%
5 強	12.7	7%	70.9	37%
5 弱	0.0	0%	0.0	0%

※震度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

### (2) 液状化

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



#### <液状化危険度別面積割合>

(参考) 総面積 = 194.5km<sup>2</sup>

	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km <sup>2</sup> )	割合	面積 (km <sup>2</sup> )	割合
極めて高い	24.1	12%	19.1	10%
高い	6.8	4%	8.9	5%
低い	1.7	1%未満	3.1	2%
極めて低い	12.0	6%	13.4	7%
計算対象層なし 計算対象外	149.8	77%	149.8	77%

※液状化危険度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

## 1. ハザード評価

### (3) 沿岸最大津波高

L2	L1
5m	3m

### (4) 沿岸津波到達時間

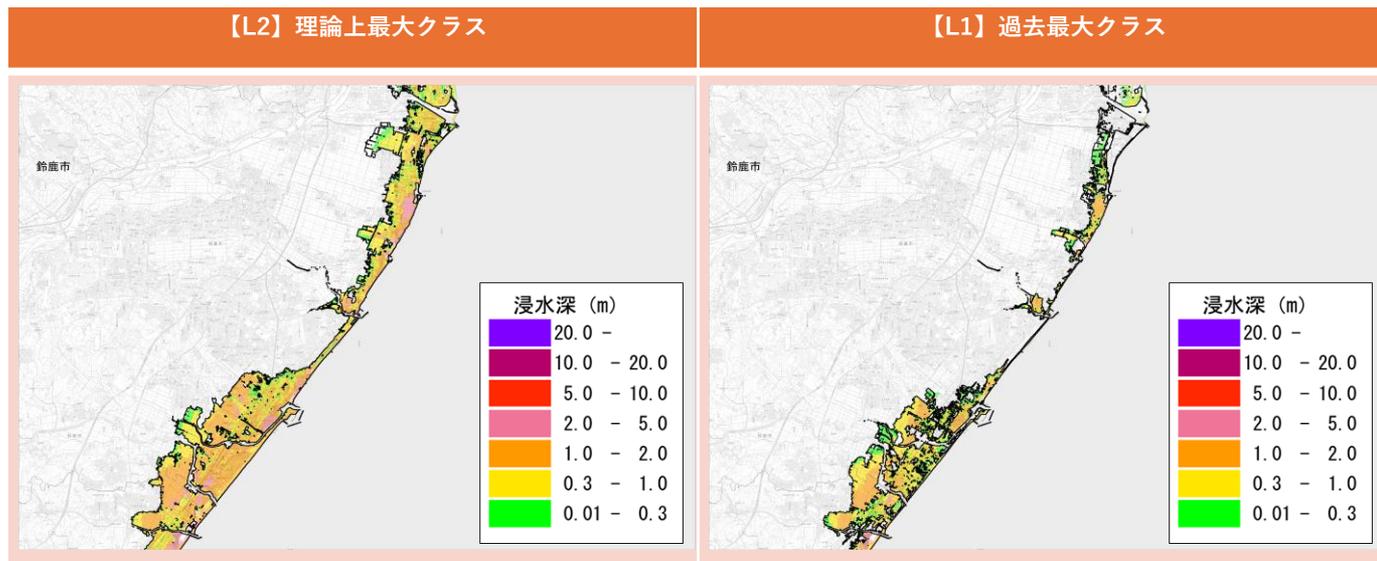
L2	L1
64分	68分

※沿岸で1mの水位変動が発生するまでの最短の時間

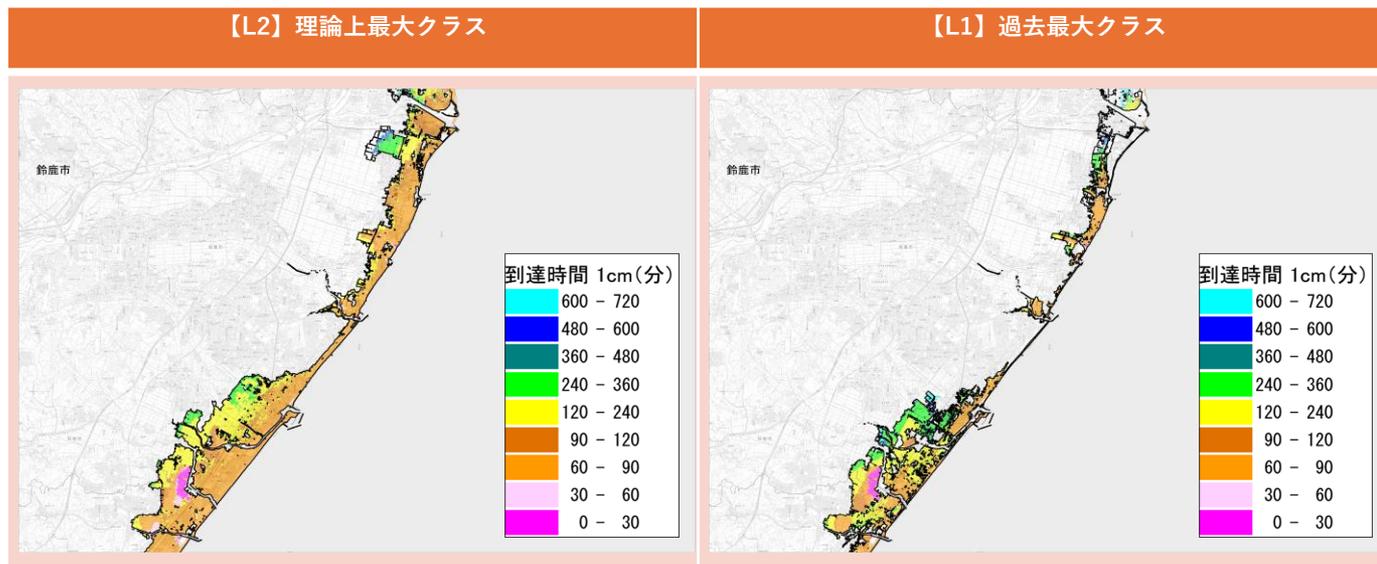
### (5) 津波浸水面積

L2	L1
1,111ha	576ha

### (6) 津波浸水深



### (7) 津波浸水深到達時間 ※陸上で1cmの浸水が発生するまでの時間



### 2. リスク評価

#### (1) 人的被害

※L2の死者数は津波ケース⑨の推計結果

※季節・時間帯：冬・深夜

※津波からの早期避難者比率が低い場合

定量評価項目	L2	L1
死者数（人）	約1,700	約200
うち建物倒壊等	約400	約30
うち津波	約1,300	約100
うち急傾斜地崩壊等	-	-
うち火災	約40	-
うちブロック塀 ・自動販売機転倒 および屋外落下物	-	-
重傷者数（人）	約900	約100
軽傷者数（人）	約2,900	約800
建物倒壊等による 自力脱出困難者数（人）	約2,000	約200
津波被害による 要救助者数（人）	約300	約60
津波被害による 要搜索者数（人）	約800	約200

#### (2) 建物被害

※L2の全壊・焼失棟数は津波ケース②の推計結果

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
全壊・焼失棟数（棟）	約11,000	約1,000
うち揺れ	約7,800	約800
うち液状化	約100	約100
うち津波	約500	約80
うち急傾斜地	約10	-
うち火災	約2,800	約10
半壊棟数（棟）	約16,000	約6,900
うち揺れ	約12,000	約4,000
うち液状化	約500	約600
うち津波	約3,700	約2,300
うち急傾斜地	約20	約10
ブロック塀等の 転倒数（件）	約1,600	約400
自動販売機の 転倒数（件）	約70	約50
屋外落下物の 発生数（件）	約1,100	約10

#### (3) 火災被害

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
炎上出火件数（件）	約20	-
残火災件数（件）	約20	-
津波火災発生件数（件）	-	-

#### 概観（理論上最大クラス）

##### 【ハザード評価】

広い範囲で震度6強以上となり、平野部では液状化が発生します。また、地震からおおむね90分後以降に津波の浸水が生じます。

##### 【リスク評価】

理論上最大クラスでは、死者の約8割が津波で亡くなり、建物被害は、揺れによって市全体の約1割が全壊し、次いで火災による焼失、津波による全壊が発生します。

※「-」：わずか（5未満）

※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。